



# 戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス [y3totuka@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3totuka@edu.city.yokohama.jp)

FAX 881-9804

## 心の視野を広げて

校長 大谷 珠美

長く暑かった夏休みが終わり、いよいよ学校が始まりました。お子さんは、夏休みの間どのように過ごしたでしょうか。ゆっくり時間を使って思うようなことができたでしょうか。暑さとの戦いであった夏休みですが、これからは、各学年での行事などでそれぞれの力を発揮する場面が多くなってきます。友達と協力して取り組めることが増えていくといいですね。

さて、私たちが社会生活を送るうえで、ルールやマナーを守るということは大切なことです。でも私たちの身近な生活の場では、必ずしもすべてにおいて「正しさ」の判断基準が明確になっているわけではありません。意見が分かれる問題に直面することもあると思います。自分が「正しい」と思ったことでも、他の誰かに尋ねたら「そうは思わない」ということがあるかもしれません。そんな時、自分の思う正しさを振りかざして他人を非難するばかりでは、人間関係に亀裂を生じさせたり、周囲に嫌な空気を醸し出したりすることになるでしょう。私たちは、その言動によって自分の心の中にもほかの人との間にも不安が広がっていくのであれば、それは本当の意味での正しいことと言えなくなる可能性があります。私たちは、自分が正しいと思う時や何かに一生懸命になっているときほど「心の視野」が狭くなって、「自分とは立場や考え方が異なる人も存在する」という事実を見落としがちになり、配慮を欠いてしまうことになるのではないのでしょうか。これは、お互いによく注意をしなければいけないことです。真面目過ぎたり正義感が強すぎたりする面があると、自分とは立場の異なる人を受け入れられない場合もあるようです。真面目さや正義感はもちろん大切です。でも、それらが強く出すぎると自分のペースと異なる相手が許せない、自分の思う正しさに合致しない相手の言動が許せないといったことにもなりかねず、そこから相手を攻撃するようなことになれば、それこそ「身勝手な言い分」になるでしょう。私たちは相手の過ちには目を向けがちですが、自分の間違いには気づきにくい点にも注意が必要だと思っています。他人の言動を受け入れがたく思ったときは、相手の事情に思いをはせてみる一方で、「もしかしたら、自分も周囲を不快に思わせていたかもしれない」と、我が身を振り返ったり、自分の言動を誰かからたしなめられたりした場合のことを考えてみたりするのも「心の視野」を広げていく上で大切なことではないのでしょうか。

8月30日、31日には6年生が日光修学旅行に行きます。9月21日、22日には5年生が三浦宿泊体験学習に行きます。それぞれグループで活動する場面も多くあります。高学年になっているからこそ、自分の物差しだけで物事を判断するのではなく、相手のことも考え、どうすることが自分も含めたみんなにとって安心できたり最善の選択ができたりするかを考えて行動に移してほしいと思っています。私たちはそれぞれに生活のリズムが違うように、物の見方や考え方など多くの点で違いがあります。そうした中で自分一人の立場や考えにとらわれ続ける限り、自分とは立場の異なる相手を思いやることはもちろん、全体を見渡した適切な見方や考え方もできないでしょう。一人一人はお互いに、不完全な面もある人間同士です。そんなお互い様な私たちが共存している社会において「他者を思いやる心」を自分自身で育てていくようにすると、宿泊学習や大きな行事、学校生活も楽しく安心できるようになっていくのではないのでしょうか。これから先、たくさん行事や校外学習が待っています。「心の視野」を広げ、誰もが安心して過ごせるように心がけていきましょう。